

常任委員会の「所管事務調査」中間報告

所管事務調査とは、各常任委員会が自主的にその委員会の担当している市の事務(所管事務)について行う調査です。各常任委員会が令和7年9月から調査を開始しています。

総務常任委員会

調査事項

「少子高齢化時代におけるまちづくり・コミュニティの維持と発展について」

先進市の名古屋市、高浜市を視察

テーマに関連した先進市として、昨年10月23日と24日、愛知県名古屋市と高浜市で行政視察を実施し、その成果を受け、本年1月30日に担当所管の協創推進室との勉強会を開催し学びを深めました。

茅ヶ崎市の「まちづから協議会」を学ぶ

その後、自治体独自の地域コミュニティ認定制度を取り入れている先進事例として、神奈川県茅ヶ崎市の「まちづから協議会」について本年5月18日に行政視察を実施しました。さらに今後、市内の自治会・管理組合の役員活動の先進事例として、ブリリア多摩センター管理組合との意見交換会を行う予定です。

健康福祉常任委員会

調査事項

「重層的支援体制の整備について」

複雑化・複合化する地域課題への対策

重層的支援体制整備事業は、高齢、障害、子ども、生活困窮といった分野の枠組みを超え包括的に対応していくために、令和2年社会福祉法改正により創設されました。多摩市でも従来より包括的支援体制構築が取組まれてきましたが、国の制度改正に伴い、さらなる具現化が図られています。

先進市の知見を多摩市で生かすために

当委員会ではこれまで、愛知県長久手市、稲沢市、渋谷区への行政視察を行ってまいりました。今後、多摩市社会福祉協議会やしごと・くらしサポートステーション等と意見交換を行い、多摩市の重層的支援体制整備の実現に向けた協議を進めてまいります。

生活環境常任委員会

調査事項

「緑の管理について」

市内事業者との意見交換と東北視察

「緑の管理について」に係る市内造園業者の皆さんとの意見交換では現場の課題や提案をいただきました。また、盛岡市ではPFI※を活用した官民連携の公園整備や活性化プランを、仙台市では街路樹マニュアルを用いた維持管理や更新計画などについて学びました。

※PFIとは…公共施設等の設計・建設・維持管理・運営等を、民間のノウハウを活用して市民サービスの向上やトータルコストの削減を図る事業手法

所管課勉強会と包括委託の府中市視察

所管課との勉強会を開催し、財政負担や人員不足、樹木の大径木化などの課題解決に向け、包括的民間委託の導入検討を確認しました。これを踏まえ、道路等包括管理事業を進める府中市を視察し、市民アンケートやコスト検証を契約に生かす手法などの知見を得ました。

子ども教育常任委員会

調査事項

「誰ひとり取り残されない 学びの保障としての不登校支援について」

現場と先進事例から不登校支援を調査

不登校支援の充実に向け、保護者交流会の開催、校内分教室「あたごSpace」の視察や大阪府大東市と奈良県大和郡山市で先進事例を調査しました。大東市では「学びへのアクセス100%」の取組みや教育支援センター「ボイス」により、多層的な支援体制を確認。大和郡山市では教育特区を活用した分教室「ASU」の独自カリキュラムについて説明を受けました。

多様な学びの場の取組みを検証

さらには調布市「はしうち教室」を視察し、小集団編成や表現科など特色ある教育内容を調査しました。今後、得られた知見を委員間で共有し、課題整理と調査研究を進めます。